

「社会貢献ができる
自立した人材を育てる。」
それがeisuの
教育目的です。

1

私たちeisuは「教育」を仕事としています。でも「教育」の目的って、そもそも何でしょうか？これにはいろいろな答えがありますが、私たちeisuが考えている答えはこれです——「社会貢献ができる自立した人材を育てること」。

アメリカ・デューク大学のキャシー・デビッドソン氏は、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」と言っています。現在の社会情勢は変動が著しく、「今までこうだったから、今後もこのままでよい」というのは通用しなくなっています。この先行き不透明な時代に、自分の生活を自力で築き、

自分の幸せを自分の手でつかむことができる。そうした主体性を持つことはとても大切です。私たちはこれを「自立」と言っています。でも個人の自立は、「社会貢献」とセットになっていることが絶対に必要です。社会貢献とは、社会全体の発展や福利を志向すること、他人に幸せをもたらす活動をする事です。社会貢献をして初めて、人は社会や他者から評価され、その対価として信頼や尊敬、愛情などの精神的Valueや、生活の糧などの物質的Valueを得ることができます。つまり、自立した生活のできる一人前の大人になれるのです。

また社会貢献のためには、様々な能力が必要になります。それを身につけさせるのも、教育の目的ということになりますね。たとえば「成功のStrategy（戦略）」を実行できることは、そんな能力の一つです。「成功のStrategy」とは、志や目標を具体的な形に変えていくための努力の方法のことを言います。それは簡単に言えば、確実に結果を出していくための行動手順のことです。

社会に認められなくては、人の輪の中で生きられません。そして望ましい結果を確実に出せる行動手順を知らなくては、欲しいものは手に入りません。でもそういう力は、放っておいても自然に身につくものではないのです。つまり、そういう人間になるためには「教育」が必要なんです。子供たちを、社会貢献ができる自立した大人へと育てること、そしてそのために必要な能力を身につけさせること。それが教育の目的であると、私たちは考えています。

「受験を通して
人生を学ぶ。」
それがeisuの
指導方針です。

2

eisuは進学塾であり、予備校です。ですから、私たちがすべき仕事の第一は、何と言っても子供たちに学力を身につけさせ、成績を向上させ、志望校合格に導くことです。ですから私たちeisuスタッフは、全員が徹底的に「合格実績」にこだわって仕事をしています。

でも、私たちが合格実績にとことんこだわる理由は、たとえば「学歴こそ大切だ」「いい学校に行くのがすべてだ」と思っているからではありません。人生には自分を厳しく試される場が何度も訪れます。そんなとき、一人で試練に立ち向かい、それまで蓄積したものをすべて出し切り、志を遂げる力が絶対に必要です。そうした力を身につけるのに受験は最良の機会だと信じているからこそ、

私たちは合格実績にこだわるのです。

「合格」という結果に厳しくこだわっていくことで、試練の場に立ち向かえるマインドを身につけていく。そして本当の意味で独り立ちできる、つまり「自立」できる人間になる——。受験は、人が「自立」を学ぶための絶好のチャンスだと思います。

でも、人生において大切なことは他にもあります。たとえば高い志を持つことの大切さ。目標を具体化することの大切さ。自分の弱点に向き合うことの大切さ。すべきことに優先順位をつけることの大切さ。生活のリズムを整えることの大切さ。自分を支えてくれる周囲の人たちの大切さ。苦楽を分かち合う仲間の大切さ……。そして、目標を達成したときの喜びの大きさ！その喜びを、自分を支えてくれた人たちと分かち合うことの素晴らしさ！！こうした濃縮した人生経験を得るためには、受験はうってつけの機会です。受験で真剣に結果にこだわるからこそ、人生で大切なことが集中的に学べるのです。これらが、私たちが合格実績にこだわる理由であり、私たちeisuの指導方針です。

「幼小中高一貫指導で
地域の教育水準向上
を目指す。」それが
私たちの使命です。

3

eisuは、こうした教育目的や指導方針のもとに全社の体制をつくっています。たとえば「幼小中高一貫指導体制」がそれです。大抵の子供は、大学進学までに複数回の受験機会があります。そこで私たちは、個々の受験までの過程にこだわると同時に、その次のステップも視野に入れた指導を行っています。たとえば有名高校に入ったらそれが人生のゴール！というような指導スタイルは、私たちには全く無縁のものです。私たちはその次のステップで優位に立てる作戦というものを、子供たちと一緒に追求します。こんな指導スタイルは、「幼小中高一貫指導体制」を完備しているeisuならではのものです。

また、私たちは講師が「教える」こと以上に、子供が主体的に「学ぶ」ことを大切にしています。ですから、子供の学習機会を増やすための策は決して一つにこだわられません。「ハイブリッド指導システム」は、子供たちに最適の学習メソッドをハイブリッドして用意することです。熱意溢れる講師によるライブ授業、High Qualityな映像授業、自立学習型トレーニングシステム、教育コーチング、学習意欲を喚起する学習環境……。私たちは子供たちに人生で本当に大切なことを学んでもらうためなら、できる限りのすべてのことを、全身全霊で追求します。

そして私たちの使命は、eisuが展開する地域の教育水準向上に貢献することです。学ぶことを楽しみ、考えることを喜ぶ。そうした向学の気風を地域に定着させ、地域と一体となった成長を目指します。合格実績がそのまま地域の教育水準を表すわけではありませんが、向学心が高い子供たちが地域に増えれば、おのずと合格実績も、地域の教育水準も上がるはず。それがeisuの企業としての成長にもつながる……そう考えて、私たちは日々努力しています。

創立50周年を前に、
私たちは改めて
地域と一体となった
成長を目指します。

4

変転著しい学習塾業界にあって、eisuが2015年で創立50周年を迎えることができるのは、以上のようなeisuの教育理念や地域貢献の姿勢を、地域の方々が評価し、支持して下さったお陰なのだと思います。心から感謝申し上げます。

現代は教育も含めてまさに変革期。将来像も不透明になりがちです。でもそんな時代だからこそ、理念や望ましい人間像を明確に描き、それを目指して真っ直ぐに歩む姿勢が大切です。私たちeisu社員は、これからも一丸となって地域の発展のため誠心誠意努力してまいります。しかしそのためには、地域の皆様のご支持とご協力をいただき、ともに手を携える

ことが必須条件です。この三重県からたくさんの優秀な人材を輩出していくという大きな課題に、これからも私たちと一緒に取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

自分の生活を自力で築き
自分の幸せを自分の手でつかむことができる。

受験を通してそのような人材を育成する教育を
私たちeisuはさらに追求していきます。



Nao Ito

eisu group最高執行責任者(COO) 伊藤 奈緒 (いとう なお)

三重県立津高校より関西学院大学卒業。2000年、自身も中1から高3まで6年間で学んだeisuに入社。入社時は高校数学担当で採用されたが、高校英語に転身。生徒たちに責任をもって指導ができるよう必死の努力と工夫を重ね、入社3年で人気・実力ともeisu高校部No.1講師に。その後、本当に生徒たちの学力を上げるには東進の方法論を用いたハイブリッド指導が最善と信じ、熱意と努力を注いで現在の完成された指導スタイルを構築。その成功により日本全国の教育関係者の注目を集め、研修・指導にも腕をふるう。現在、eisu group最高執行責任者(COO) 兼 eisu高校部最高執行責任者(COO)。